



あゆみ

学校だより 2月号

親子で読書 親子で会話
親子で食事



校長 鈴木 学 平成25年2月22日

授業参観・懇談 保護者のマナーに感謝

15日の授業参観並びに学級懇談には、たくさんの方にご出席いただき、誠にありがとうございました。お子さんの1年間の成長の一端をご覧いただけたものと思います。

今回の授業参観で嬉しかったことが二つあります。

まず、どのクラスの保護者も授業を真剣に観てくださったことです。授業参観で、『保護者がおしゃべりをしていて、授業の妨げになる』という話はめずらしくありませんし、以前勤務した学校では、実際にそう感じたことが幾度もありました。



もう一つは、校庭への駐車についてです。これも過去の経験では、少しでも昇降口に近い場所に止めようと、こちらの誘導を無視して駐車する人がいましたが、本校では、悪天候にもかかわらず、皆さんきちんと誘導の指示に従ってくださいました。

「すみません。雨なので車で来てしまいました。」と言ってくださった方もいました。

『子は、親の背中を見て育つ』とはよく言われる言葉です。保護者の規範意識・マナーを誇れる睦小なら、よい子が育たぬはずはありません。

学年委員さんの選出にもご協力をいただきありがとうございました。今年度の委員の皆様、大変お世話になりました。また、来年度の委員の皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

自分の心の成長に気づいた1年生

このところ、1年生ネタが少し多いようで気になっていますが、ご容赦を。

今回の授業参観で、1年生は、「1年間でふり返って、できるようになったこと・がんばったこと」の発表会をしました。個人やグループで、できるようになった算数の計算、音読、縄跳び、昔遊びなどを発表していました。

そんな中に、『おばあさんの荷物を持ってあげるところ』を発表したグループがありました。（私は残念なことに見逃してしまいましたが）

道徳の時間に、そういう場面について勉強したことが、心に残っていたようです。



「もし、重たい荷物を持っているおばあさんに出会ったら、荷物を持ってあげたい。（持ってあげることができる）」という気持ちを強く感じた授業であったのだと思います。

知的な面、技能・体力面での成長を自覚できた子どもたちも、もちろん立派ですが、道徳の時間に学んだこと、言い換えれば自分の心の成長を自覚し、それを発表した子がいたことに感心しました。

教育相談などで、1年生はみんな「学校が楽しい」と話しています。でも、その理由が少し変わってきています。

1・2学期は、「休み時間が楽しいから」という理由がほとんどでしたが、3学期は、「勉強・授業が楽しいから」が増えてきています。新しいことを知ったり覚えたりすることに、楽しさを感じられるようになったのも大きな成長ですね。

本校のいじめ対策について

学校評価のアンケート集計結果については、後日改めてお知らせ致しますが、いただいたご意見の中に『いじめ対策について教えてほしい』というものが複数あり、さらに、「睦小は、いじめが多いという話を聞きますが？」という記述もありました。そこで、本校の取り組みについて、説明させていただきます。

漠然とした言い方になりますが、いじめ対策としては、まず、全ての教育活動を充実させること、と考えます。

授業において、豊かな言語活動を展開し、表現力やコミュニケーション力を育成すれば、諍いの無いきちんとした話し合いを通して、よりよい人間関係を築けるようになります。

挨拶や靴揃えができる、親子で読書をする、ボランティアさんや地域の方と触れ合う、声を合わせて暗唱する等々、これらは心を育てることにつながります。様々な行事や縦割り班活動（異学年活動）も、優しさや思いやりもち、相手の気持ちを考えられる子を育てるためのよい機会ととらえています。

具体的・直接的な手立てとして、各学級では、学級活動や道徳の時間に「言われて嬉しい言葉」や「自分のよさ、友達のよさ」について話し合う時間を設定したり、帰りの会で「ありがとうコーナー」の時間を作ったりして、自分も友達も大切にできる温かな雰囲気作りを努めています。

学期に一回行われる「教育相談」は、事前に児童からアンケートをとり、それをもとに担任と児童が一对一で話せる時間になっています。ここで、友人関係の悩みなども聞くことができ、いじめ発見につながる重要な時間となっています。

また、本校では全職員で全児童を見守ることを心がけ、職員間の連携を大切にしています。出授業の時はもちろんのこと、登校時や清掃時などに、元気が無いなど“気になる子”がいたら、担当者はすぐに担任に伝えていきます。

毎回職員会議の最後に児童指導に関する情報交換の時間を設けて、全職員で共通理解を図っています。そして、必要に応じて「いじめ対策委員会」を開きます。



さらに、朝の職員打合せ時など、担任の目が届かない時間には、できるだけ町採用の先生が各教室を巡回するようにしています。

『いじめは、いつでも・どこでも・だれにでも起こる』という認識のもと、全職員一丸となって取り組んでおりますが、いじめの発見には、保護者の皆様との連携が欠かせません。少しでも気になることがありましたら、すぐに担任にお知らせください。

なお、本校にいじめが多いということはありませんのでご安心ください。

広げよう親子読書（家読）^{うちどく}

1月25日、親子読書（家読）の一層の普及を目的に、PTA主催の「読み聞かせサロン」を実施しました。

「親子読書の反響がとてもよいので、読み聞かせ講習会をPTA主催でやってみませんか？」と役員さんにお話したところ、「いいですね。でも、講習会では堅苦しいので、他の名前にしましょう。」ということで、『サロン』という素敵な名前になりました。さすが本校のPTA役員さんです。後は、全てお任せで準備を進めていただきました。

当日は、読み聞かせボランティア3団体の方をお招きし、実演と読み聞かせを始めたきっかけや楽しさなどについてのお話を伺いました。

その後は、小グループになってお茶を飲みながらのフリートーク。ボランティアさんにもグループに入っていたので、気軽な雰囲気の中、読書や読み聞かせについてのアドバイスもいただき、有意義な話し合いになりました。

「第2回を期待しています」という嬉しい声もいただきました。

保護者ボランティアが読み聞かせをしてくださっている学校もたくさんあります。希望される方は学校までお知らせください。



ボランティアのお話